

日本人は食原病が多い

命を大切ににする女性型農業

NPO法人元氣農業開発機構のセミナー「日本農業のビックバン」とその対談で特別講演した農業生産法人日本豊受自然農・由井真子代表の講演内容を紹介します。講演に参加者は魅入って終了後、質問が相次いだ。また、参加者は久しぶりに熱気のあるセミナーに満足していた。(編集局)

自然農が日本を救う 地球の声を聞こう

農業生産法人日本豊受自然農・由井代表講演



元氣な野菜たちを生産、感謝しつついただくという由井代表

私の家は、愛媛でミカオバシーを導入しました。ところが英国ではホメオパシーで治療している患者が、日本ではなかなか治りにくいという問題に直面したのです。日本では、欧米の40倍の抗生物質を消費し、簡単にステロイド剤を使いまくります。抗インフルエンザウイルス剤のタミフルなど、世界の生産量の半分を日本が買占めていたのです。その後ホメオパス(ホメオパシー療法)を天賦と思ひ、英法で5年間ホメオパシーを勉強し、英国ホメオパシー医学協会(HMPP)の認定資格を日本人ではじめて取得し、日本にホメオパシーを普及させてい



終了後、由井代表を囲む参加者

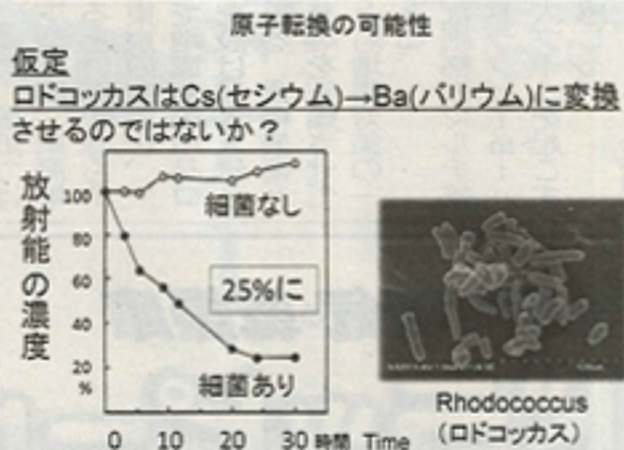
「自然型農業」に戻し、安心安全で、おいしい体にいいものを作ることです。これからは家族のために食事を考える女性が、食の目も向け、自分で作物を作る女性型農業が大事になるのではないかと考えています。命を大事にする女性による農業なども組み込んで教えたいです。先曰、農業ツアーを開催したところ、参加したみなさんが笑顔で、心から喜んでいました。ホメオパシー(Chiropractic)に学ぶ学生が農業に関心をもち、自らも農業をやってくれたらいいのではないかと考えています。命を大事にする女性による農業なども組み込んで教えたいです。

自然治癒力を喚起

アクティブプラントを使用

「日本豊受自然農の自然型農業」農業生産法人日本豊受自然農は、静岡南の6千6百坪の農場で野菜を中心に、北海道洞爺湖の3万3千坪の農場でハーブを中心に栽培しています。

ホメオパシーは病気を引き起こすものを希釈振盪したレメディーを与えることで、自然治癒力を喚起し、治癒していく療法ですが、これは自然治癒力を喚起させるための普遍的な法則だと思います。また、クヌギの落ち葉



このように豊受自然農ではホメオパシーを使用し、自然型農業をやっている。人工肥料や農薬は全く使わない。今、野菜や果物のミネラル(銅、亜鉛、鉄、マグネシウム、カルシウム)の含有量が激減していることはご存じだと思います。アメリカのリンゴに含まれるミネラルの量を比べてみると、1963年くらいからかなり減ってしまっています。モロトコ社が頑張って農薬や化学肥料を作りました。ミネラルは71%の減少、ホウレンソウのビタミンCは77%の減少、鉄分に至ってはなんと85%も減っています。これは、農薬や人工肥料で微生物・雑草・昆虫・植物の活性化するホメオパシーと発酵の力を組み合わせた「アクティブプラント」の効果だと思います。

13穀米と麦が主食

豊受食堂 麻の実の油を使用

「豊受食堂の紹介」私たちが豊受の食堂の食事をご紹介します。三穀米に麦を混ぜたものが主食で、昆布巻いた豆腐と納豆、豊受自然農で作った野菜と味噌を使ったサラダや味噌汁、不飽和脂肪酸が理想的なバランスに入っている麻の実の油など、低温圧搾した良質な油は、老廃物を燃やし血液をきれいにする。5面に続く